

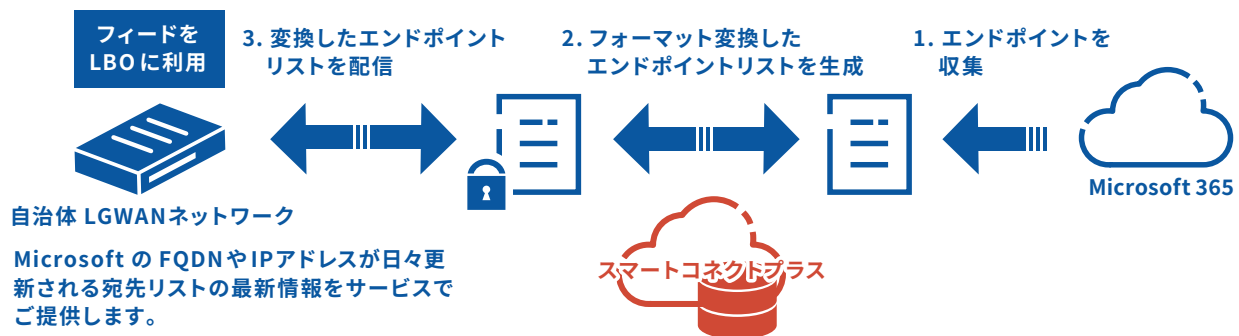
スマートコネクトプラス

常に最新のエンドポイントリストで、
安全なクラウドアクセスを提供。

01.スマートコネクトプラスとは

スマートコネクトプラスでは、Microsoft 365 が提供しているエンドポイントリスト (FQDN/URL/IP アドレス) をお客様のネットワークデバイスが読み込めるフォーマットに変換し、配信するサービスを提供します。

これにより、自治体LGWAN接続系から特定のクラウドサービスへ直接接続できるLBO (ローカルブレイクアウト) を実現することが可能です。

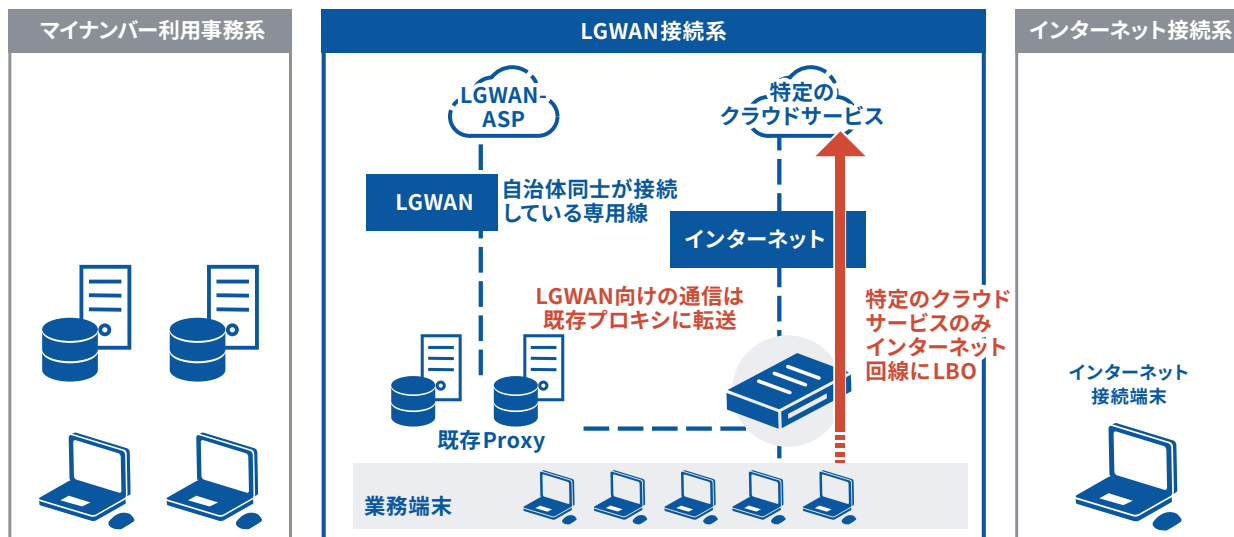


自治体 LGWAN ネットワーク
Microsoft の FQDN や IP アドレスが日々更新される宛先リストの最新情報をサービスで提供します。

02.ローカルブレイクアウトとは

ローカルブレイクアウトを実装することで、負荷の多いMicrosoft 365 等のSaaSクラウドサービスだけを拠点から直接インターネットへ転送することができ、センターに集中していた通信を分散させることが可能です。

代表利用例 自治体強化α'モデル

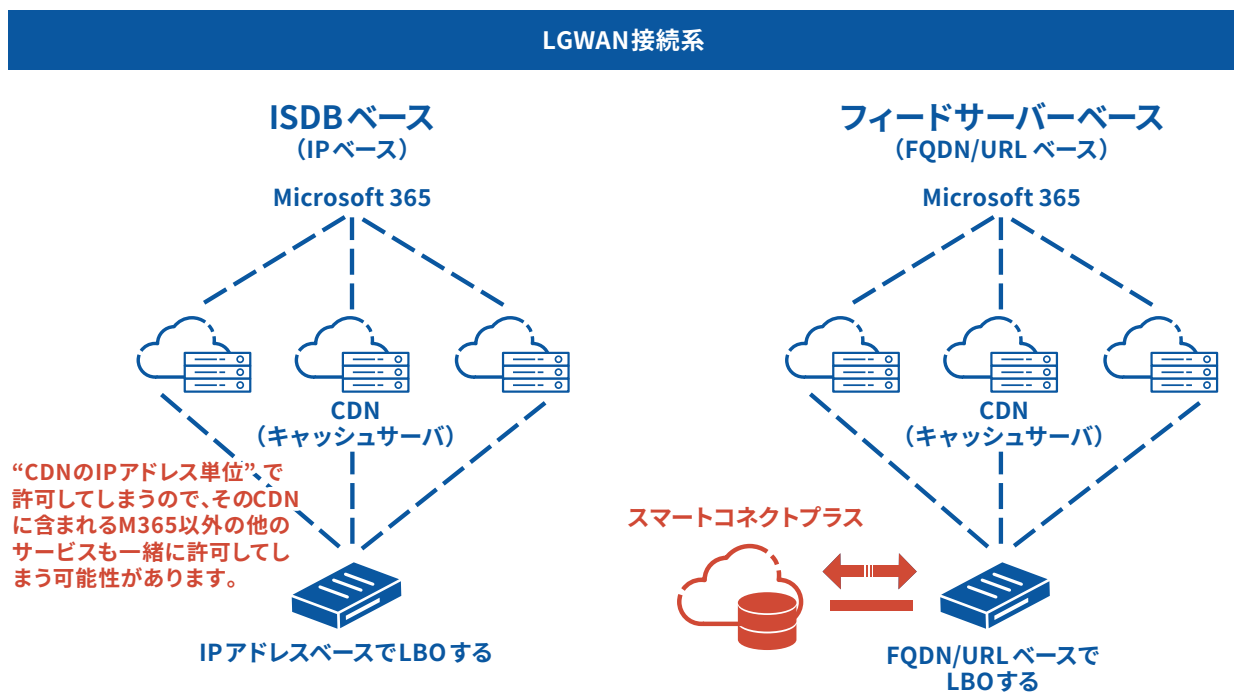


03.IPアドレスベースのローカルブレイクアウト

CDN(Content Delivery Network) を利用しているクラウドサービスでは、同じIPアドレスで複数のドメインが収容されるため、サービスの区別がつきません。

そのため、IPアドレスベースのトラフィック制御では、許可するべきではない宛先に接続が許可されてしまう可能性があります。

スマートコネクトプラスを利用することで、Microsoft 365が提供しているエンドポイントリスト (FQDN/URL/IP アドレス) を随時取得することができ、適切な宛先にローカルブレイクアウトを制御することが可能となります。



URL/FQDNを指定することで、よりピンポイントな制御が可能

IT管理者の負担を軽減

セキュリティのインシデントリスクを低減

トラフィックを最適化しパフォーマンス向上

